



上電友の会だより

「上毛電鉄友の会」の会報誌

第9号



(空っ風通信)

Joden Supporters Club

赤城山麓を走る電車

上電が設立されたのは大正15年(1926年)の5月27日。

84年目を迎えた2010年の設立記念日に、地域の足である上毛電鉄の末永い運行を目指して「上毛電鉄友の会」は発足いたしました。今年で発足して6年目、これからもみんなでサポートして上電を盛り上げよう!

挨拶 友の会第9号発刊にあたって

上毛電鉄の歴史遺産を見直す

2016年の新年を迎え、上毛電鉄友の会(以下本会)会報第9号の発刊に際して、本会会員、上毛電鉄社員の皆様などに、御挨拶と感謝申し上げます。

昨年後半は、群馬県内各駅に色々なスタンプラリーの台紙が置かれていましたが、そのなかで「シルク&近代遺産 歴史ラリー」なる台紙に興味を引きました。シルクというと、「富岡製糸場と絹産業遺産群」の世界遺産登録は、まだ記憶に新しいことですが、上電も含めて幾つかの鉄道路線は、シルクのおかげで早期に開通したともいえます。また、昨今の群馬県は、NHKの大河ドラマに恵まれ、昨年は前橋市を舞台の一つとした「花燃ゆ」、そして今年には利根沼田を舞台の一つとした「真田丸」が放送されますが、それらを総称した「歴史遺産」が脚光を浴びているこの頃でもあります。

上電でも、創業当時から走ってきたデハ101や登録文化財として認定された施設など歴史遺産には事欠かないので、今年は、改めてこれらを見直し、観光資源として集客を増やす努力もするなど、上電の益々の発展を支えていきたいと思っております。併せて、本会員はもちろん、市民・県民の方々に、公共交通を見直していただき、少しでも鉄道利用者が増えれば幸いです。(上毛電鉄友の会 代表 大島 登志彦)

灯 大胡駅イルミネーション

今年も大胡駅のイルミネーションは2015年12月10日から始まっております。

駅のホームの北側、駅舎、ロータリーに約3万個のLEDによってイルミネーションが飾られています。また大胡駅は上毛電鉄の車庫でもありますので北側の斜面にはデハ101が常設されており、このデハ101にもイルミネーションが施されており、とても幻想的です。これらのイルミネーションは職員の皆さんによる手作りです。昼間は大胡の車庫見学、夜はイルミネーション見学でほっとしたひと時はいかがでしょうか?

また駅前ロータリーには友の会マスコットの赤城いずみちゃんと上毛といち君が並んだ看板がありますのでぜひ見ていってくださいね。友の会もイルミネーション事業に協力しておりますのでよろしく願いいたします。

イルミネーション点灯時間:17時~終電

期間:12月10日~3月上旬まで

※ ホームでの見学の際は乗車券または入場券(170円)が必要になります。

Facebookでは動画で紹介させていただきましたのでこちらでも...

大胡イルミネーション動画:

https://youtu.be/XN5c_TKrwEk



■動画リンク■

(平岡隆一)



春 春の沿線ハイキング(予告)

6回目となる本会企画の沿線ハイキング。今回は、友の会トークショーでも取り上げられた(後出)、東武鉄道伊香保軌道線跡に足を延ばします。

伊香保軌道線は、東武鉄道が群馬県内で運行していた軌道線の一つで、国鉄渋川駅前から渋川新町を通り、榛名山の中腹にある伊香保温泉に至る登山電車でした。

今は一部が道路となって残る軌道線跡を、当時の光景を思い浮かべながら渋川駅前から伊香保温泉を目指します。旧伊香保駅付近に復元された当時の車両に出会った後は、温泉で汗を流し、路線バスで下山する、歩行距離約13kmのコースです。

■実施日:平成28年5月15日(日) 中央前橋駅 7:15 集合

※ご注意 集合は中央前橋駅、解散は渋川駅です。

■参加費用:5,000円(昼食・温泉なしは1,500円)

※ご注意 集合場所まで及び解散場所からの交通費は各自で別途ご用意ください。

■行程:中央前橋駅集合(7:15) - <シャトルバス乗車> - 前橋駅 - <前橋軌道線の代替となった路線バス乗車> - 渋川駅 - <廃線跡ウォーク> - 旧伊香保温泉駅跡 - 旅館(休憩) - 石段街(見学) - 最寄バス停 - <路線バス乗車> - 渋川駅解散(16:30頃予定) (場合により経路変更あり)

(佐羽宏之・太田聡彦)

秋 秋のバスハイキング報告

「蒲原鉄道跡を歩く」

11月7日(土)、毎年恒例のバスハイキング企画「蒲原鉄道跡を歩く」に参加してきました。今回の目的地は1999年までに全線が廃止された新潟県・蒲原鉄道の廃線跡と新津市の鉄道資料館です。朝7:45に中央前橋駅を出発。新潟県加茂市には11時半ごろに到着。まずは旧陣ヶ峰駅跡を見学し、その後旧東加茂駅~旧狭口駅付近までの約4kmをウォーキング。廃線敷が残されている場所では、枕木やホームの跡と思われる遺構が確認できました。続いて、駅舎跡が地元の集会所として活用されている旧七谷駅を見学し、冬鳥越スキーガーデンへ。昼食休憩を兼ねて保存車両を見学。後半はバスで廃線跡を利用した道路を走行し、旧今泉駅付近~五泉駅まで再びウォーキング。最後に新津へ移動して鉄道資料館を見学。新津市が鉄道とともに発展してきた経緯をご紹介いただきました。蒲原鉄道の跡は比較的残されている方でしたが、それでも時代の流れによって少しずつ失われています。なかなか足を運ぶ機会に恵まれなかった場所に行くことができ、大満足な一日でした。(小俣聡)



食

ごちそうアートトレイン運行

この企画は、群馬大学美術教育研究会(茂木研究室)が主催する人材育成プログラムの一環で「食」をアートに変換する講座を開講(講師:中山春奈さん)、その実践編として催行されました。友の会は直接関わってはいませんが、地域×上電の新しいポテンシャルが垣間みえたので紹介します。



11月15日の日曜日、中央前橋駅の改札には市の花「バラ」の帯飾りが飾られ、女性スタッフの多さに普段とは違う華やかな雰囲気が醸し出されています。(筆者は中央駅の1から3番線まで700系3編成が停車した7分間に感激。) 定刻11時、列車は公募60人の参加者を乗せて出発、三俣を過ぎると野菜ソムリエの説明と食材の提供があり、大胡を過ぎるころには食器とオードブルが配られました。新里からはメインディッシュが提供され、赤城山を見ながらの食事が進みます。西桐生駅では、折り返しの小一時間を利用して群大モダンジャズ研究会と、楽団「石原家」の演奏に耳を傾けました。



西桐生の発車後には、パスタ、デザートと続き、コースメニューが出揃います。どの食材も「地元産」で地域の特徴を鮮やかに表現しています。クライマックスとなる大胡駅からは、食事を詰めた箱やテーブルクロス、窓にしつらわれた白い紙の額縁に絵を描く作業が始まりました。出来上がった作品は、主催者の了解を得て、上電の新春イベントでも展示されました。(写真) 終点中央前橋には14時過ぎに到着、アコーディオン奏者の Rinn さんの演奏に迎えられ、ゴチトレの旅が終了となりました。気配りが隅々までいき届いた見事な企画で、この企画の継続を心から願いました。

講師の中山さんは、前橋市を漢字一語で表すのに「豊」という字を選んでいました。上電沿線の豊かな材料・資源たちがこの企画で導き出されました。当たり前にあると思わずに正面から向き合えば、光るものは必ず出てくる、また、音楽や芸術など地域のアーティストの多彩な感性と相乗すれば、上電が経済的にも精神的にも豊かになり、路線の継続にも効果が出てくると確信した旅でした。(新保正夫)

掃

クリーンボランティア報告

昨年で4年目を迎えました上電駅クリーンボランティアは、皆様のご協力で清掃活動も軌道に乗り、年2回のペースで実施しています。昨年は、4月に5回目の清掃を粕川駅で、11月に6回目の清掃を新屋駅で行うことができました。

まず、4月の粕川駅ですが、駅舎のある駅での清掃活動は初めてとなりました。これまでと同様、ゴミ拾い、草むしり、手すりの拭き掃除、ポスターのテープ跡の除去などを行いましたが、これらに加えて、駅舎の待合室天井に積もった埃を払う作業も行うことになりました。普段はあまり気にすることのない場所ですが、駅舎の改築以来、手の届かない天井の梁などに積もり続けた埃は相当な量で、箒などで払い落とすのも一苦勞の作業でした。駅舎管理の苦勞を思い知ると共に、いつも駅舎を綺麗に保ってくださっている職員の皆様への感謝の気持ちを、一段と強く感じる一日でした。

また、この日も粕川地区地域づくり協議会のメンバーの皆様が参加してくださり、清掃だけでなく、地域の方々との交流を深めることができました。たくさんの差し入れもいただきまして、地域の方々が、上電に対して温かい眼差しを向けてくださっていることに、上電ファンの一人として大きな心強さと元気をいただきました。

次に、11月の新屋駅(写真)ですが、今回の清掃で一番の成果は、ポスターを貼った際に壁に残ってしまうテープ跡を、ほとんど完全に除去することができたことでした。参加者の方々が、様々な方法を試したり調べてくださった結果、これまで目立っ



(右上へ)

(左下から)

ていたテープ跡がすっかり綺麗になり、利用者の皆様に気持ち良く電車を待ってもらえるのではないかとと思うと、喜びもひとしおです。

また、今回も、駅前のお店で清掃用の水をお借りし、粕川地区地域づくり協議会の方からは差し入れをいただくなど、地域の方々のご協力をいただきました。今後も、地域の方々との交流を深め、上電を応援する輪を大きくしていきたいと考えていますので、友の会の皆様にも、多様な形でその輪に加わっていただければ嬉しく思います。

この活動は、上毛電気鉄道株式会社様、友の会を始め清掃活動の参加者の皆様、そして地域の方々のご理解とご協力で、毎回滞りなく、楽しく実施することができています。あらためまして、皆様に厚くお礼を申し上げます。今年も春と秋、年2回の活動を予定していますので、どうぞよろしくお願ひ致します。(楠山喬正)

飲

今回もビール電車に車掌DJ

2016年が明けてしばらく経ちますが、新しい年いかがお過ごしでしょうか。寒い日が続いており、昨年の暑い、熱い、ビール電車が大変懐かしく感じられます。

昨年の上毛電鉄友の会ビール電車、一昨年に引き続いて、SUPER BELL"Z 野月貴広さんにゲストとしてお越しいただき、車内を盛り上げていただきました。

野月さんと私は東京から中央前橋を目指したのですが、高崎駅ホームに降り立った時の茹だるような暑さが、昨日のようによみがえ



到着した中央前橋駅では、群馬が誇る?カップ焼きそば「ペヤング」を車内へ持ち込もうという試みから、上毛電鉄様のご協力もあり、ホームでペヤング作りという稀有な体験もできました。

上毛電鉄友の会ビール電車とは、デハ 101 を貸し切り、走る車内でお酒を楽しもうという主旨のイベントであります。友の会が用意したお酒とおつまみ、また参加者の皆様が持参くださった様々なお酒が、車内に設置したテーブル上、ところ狭しと並びます。差し入れていただいた手作り料理が各テーブルを彩り、否が応にも楽しい宴の時間を盛り上げてくれます。

デハ 101 車内では、車掌さんからお借りしたマイクを使った野月さんの車掌パフォーマンスと、吊り掛け駆動の心地良い音、開いた窓からの気持ちの良い風を楽しみながらの時間が続きます。



西桐生駅では、この日限定のキーホルダーなど SUPER BELL"Z グッズの「車外販売」を行わせていただきました。

また当日のデハ 101 は、友の会平岡さんデザインのビール電車専用ヘッドマークが付けられており、中央前橋駅、西桐生駅ではこの日だけの特別なデハの姿を写真に収める方々の姿も見られました。

大胡車庫を出発し、中央前橋駅、西桐生駅を経由し、再び中央前橋駅まで折り返して大胡車庫まで、というほぼ一往復の宴はあっという間で、ご参加いただいた皆様の心には「もっと乗っていたかったな」という思いが共通していたのではないかと思います。

今年 88 歳を迎えるデハ 101 ですが、1月3日のお正月イベントでは、変わらず元気に現役でいて欲しいと願うと共に、今年もまたたくさんのお酒を持って乗車するのでよろしくね、と挨拶して参りました。(堀込聖美)



友の会トークショーの第一部は、花上嘉成東武博物館名誉館長・大島登志彦友の会代表・佐羽宏之副代表を交えて開催され、伊香保・日光を走っていた東武軌道線を取り上げました。

伊香保軌道線は、高崎―伊香保を結んでいましたが、不採算と老朽化で昭和31年に廃線。車両と施設も旧式ばかりの伊香保線に対し、日光軌道線は黒字で新車ばかり。利用者も多かったものの、昭和43年に廃線。しかも、市民から、交通の妨げになるので、廃止して欲しいとの要望が。今では、考えられません。

花上名誉館長が伊香保線に乗ったのは、東武鉄道に入社する前に一度きり。大島代表も、かすかに記憶しているだけ。佐羽副代表は乗ったことすらなかったそうで、非常に残念がっていました。

現在も、伊香保や日光の軌道線が残っていたら、ずいぶん違った状況になっていたのではないのでしょうか。現在よりも、便利であったと思います。車の増加やモータリゼーションの進展が、誤った政策を生み出し、地域公共交通の衰退を招いてしまいました。

地域公共交通の存在がクローズアップされている昨今、改めて存在意義を考えさせられたトークとなりました。(松岡 宏)



午後の部では、昨年に引き続き「友の会」の活動報告(平成27年)を行いました。申し訳ないくらい多くの聴衆者を前に緊張します。先日、友の会に対し「この活動報告は不要」との意見が寄せられましたが、一般の来場者を前に活動内容を公表出来る貴重な機会を上電本社から頂いており、ありがたく受け入れ、今後ともオープンな活動を心がけていきたいと考えています。

報告会では、声優の堀込役員を中心に着座し、各活動の中心を担った役員が、感想を交えながら内容を説明しました。2月のCMフェスで9位入賞したこと(友の会ホームページで視聴できます)、粕川駅、新屋駅のクリーンボランティアでは地元の方の差し入れに感激したこと、春のハイキング(桐生)と、総会の開催。



夏イベントとして定着したビール電車は、堀込役員の尽力によってスーパーベルズ野月さんに2度目の同乗が叶ったこと、秋には、NHKで上電が取り上げられ、役員が出演した

ときの感想、新潟の蒲原鉄道廃線跡バスハイクの顛末や、今年のスタンプラリー企画、大胡駅イルミネーションなど現在進行中の企画告知もしました。

このことで、直接関わった役員ほかの生の声を多くの皆さんにお届けが出来たと考えています。紙幅の関係ですべては記せませんが、会報で個別の記事にしますのでご容赦ください。(新保正夫)

本 波瀾万丈!東武鉄道マン記

上電イベント常連、友の会の新春トークショーへの出演を毎年快くお引き受け下さっている、花上嘉成東武博物館名誉館長が、ご自身の鉄道人生を振り返る単行本を、本年一月に上梓されました。

高度経済成長長期以降の東武鉄道を中心とした車両の記載は、貴重な資料であり、保存版として拙宅書棚にも収めました。

また、仕事の成果を挙げることと、趣味を充実させることの両立は、様々な葛藤とご苦労の連続であったとお察しいたします。

そんな様子を微塵も感じさせないお人柄の花上名誉館長に、(右上へ)



今後とも上電のイベントなどでお会いできることを楽しみに、僭越ながら著作のご案内をさせていただきます。(新保正夫)

『波瀾万丈!東武鉄道マン記』交通新聞社新書
著者:花上嘉成 ISBN:978-4-330-63116-5 税込 972 円

写 新春イベントで写真展示

群馬アマチュア鉄道写真家協会は、その名のとおり趣味で鉄道写真を楽しむアマチュア写真家の団体です。会員たちは鉄道の魅力を写真として残すため、日々活動を続けています。もちろん上毛電鉄を積極的に撮影している会員もいます。

そんな活動の成果を発表する場として、1月3日の新春イベントの会場において写真を展示させていただきました。今回は3名の会員が展示に参加しました。

地元を走る鉄道として普段何気なく目にしている上毛電鉄ですが、写真という形にすると普段とはまたひと味違った感じに見えたりして、新しい発見もあるのではないかと思います。アマチュアレベルの写真ではありますが、写真を通して来場者の皆様にも少しでも上毛電鉄の魅力をお伝えできたなら嬉しい限りです。

今後も写真展示の機会が得られれば、皆様によりいっそう楽しんでいただけるような展示を目指していきます。そして上毛電鉄を応援するためにも、写真の展示がイベントの盛り上げに少しでもお役に立てるように努めてまいります。よろしくお願ひします。(桜井 孝)

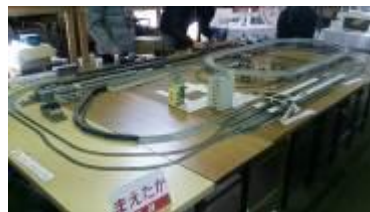


模 前橋高校OBが初出展

2016年1月3日、大胡車庫で行われたイベントにて、前高現役生とともにOB有志による鉄道模型展示も行いました。これは新春イベントでミニトレインが走らない代わりに前高OBでも模型を出展してみようという試みでした。群馬を走る鉄道をテーマにOBが所有するJR、東武、上毛、上信、わたらせ各社の車両を走行させ、鉄道にあまり詳しくない人でも身近に感じていただけるよう考慮しました。115系が多かった気もしましたが、見に来てくれた子供たちの「オレンジ電車!」と喜んでくれる声を聞き、こちらまで楽しい気分になりました。

なお、前橋高校の鉄道研究会が今年4月から正式に部へ昇格することに伴い、現在正式なOB会設立に向けて準備を進めています。

余談ですが、昼食を取るために休憩用車両に行ったところいつもの半分程度しか机が設置されていなかったのですが、もしや我々が机を使いすぎたから・・・?(冷や汗)。(小林直樹)



続 会員継続のお願い

今年度も当会の活動に対してご理解とご協力をいただき、心からお礼申し上げます。当会は、沿線の足を支えるため、引き続き各種活動を行ってまいります。ぜひとも、平成28年度も会員継続をお願いいたします。なお、次年度の会費振込書は4月を目途に発送させていただきます。(事務局)

告

今後のイベント・予定

上毛電鉄友の会、平成28年もイベントが盛りだくさん。どうぞご参加ください、一緒に上電に親しみましょう。

■春イベント・総会

4月24日(日) 9:30~15:00 友の会ブースで会員継続の手続きをお願いします。また、イベント終了後には、総会を開催します。(場所は未定です)

■ハイキング

5月15日(日) 集合場所:中央前橋駅 詳細は巻頭頁「群馬の登山電車、東武鉄道伊香保軌道線跡を登る！」

■秋のバスハイキング

11月20日(日) 関越交通エクセレントツアーと初コラボ 日立電鉄廃線跡ウォーク&ひたちなか海浜鉄道の旅

◎その他、ビール電車や会報発行など詳細が決まりましたら、友の会FBやHPなどで逐次お知らせいたします。(事務局)

フェイスブック: <https://ja-jp.facebook.com/jyodentomonokai>
<https://ja-jp.facebook.com/jyodentomonokai>

得

追記1 プラレール敷設

新春イベントに当会が出展した、プラレールレイアウトの準備風景です。途中から、フェニックスレドの3号車に見守られながら、何とか完成しました。



どうしたものかと思いましたが、



英知を合わせて、



完成です。
そして201系で試運転。



さて、イベント当日は、大勢の子供たちが集まってくれました。チラシで案内した通り、自分で所有する車両を持参する子どもも多く、上下分離方式によるオープンアクセス鉄道が、はからずも実現しています(笑)。以下、私(新保)の知り合いの現場レポを掲載します。

・・・友の会のプラレール(車両持参)コーナー。「電車走って楽しい」所ではない。「ガイカン通ります～」等よくわからない専門用語と「やめて！指紋つく！」等車両愛溢れる叫びが行き交う。なにここ、おもしろい。そして、電車は線か型？で呼ばれる。うちの持ってきたトーマスがカタカタ言っていて「摩擦消耗だよ。機軸交換しないと」と教えてくれた幼児。機軸はどこに行けば買えるのか聞いたところ「……スーパー」って可愛いなあ！！・・・ (事務局)

得

追記2 イルミネーション写真

本編で紹介しきれなかったイルミネーション写真です。

(事務局)



上毛電鉄友の会 大胡駅イルミネーションによるごぞ

～光り輝く鉄道を未来に繋ごう～

平成27年12月



ス

友の会スタンプラリー

■スタンプラリー2015 上電・真岡鉄道・ひたちなか海浜鉄道
平成28年3月13日(日)までです。いよいよラストスパート！プレゼントも準備しております。どうぞご参加ください。

編集後記

3月にはいよいよ北海道新幹線が開業。明るいニュースの影で消え行く列車たちも。世間で脚光を浴びているのは夜行列車群ですが、私にとっては大阪発着<しなの>と宇和島発着<しおかぜ>。本来なら乗換えが生じるところ、多様な区間の需要を一つの列車でまかなっているところに乗合交通としての本質を感じ、魅力に思っていました。長距離を行く昼行特急はなんとしても乗りとおしたいと思っていた矢先…。

さて、会員の皆さんは上電の全区間乗車はお済みでしょうか？皆さん、安心してください、沿線の熱意でまだまだ走り続けますよ。でも、それならまだ乗りに行かなくていいか、などと考えず、どしどし乗りに来てください。イルミネーションは期間限定ですから。(太田聡彦)

発刊 上毛電気鉄道 友の会

WEB <http://www.jomorailway.com/supporters/>

FaceBook

E-mail supporters@jomorailway.com